

注3

大学番号：国063

[平成24年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

事前伺い

島根大学 生物資源科学部
農林生産学科及び地域環境科学科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 島根大学
平成24年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務課

職名・氏名 スタッフ ^{ワタナベ}渡邊 ^{カオル}薫

電話番号 0852-32-6604

（夜間） 0852-32-6604

F A X 0852-32-6019

e-mail ski-hyouka@jn.shimane-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成24年3月12日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	10
3	施設・設備の整備状況, 経費	31
4	既設大学等の状況	32
5	教員組織の状況	34
6	留意事項に対する履行状況等	36
7	その他全般的事項	37

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 島根大学

(2) 大学名

島根大学

(3) 大学の位置

〒690-8504
島根県松江市西川津町1060番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織 該当なし

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成21年度に報告済の内容 → (21)

平成24年度に報告する内容 → (24)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
・ 様式は, 平成21年度開設の4年制の学科の場合(平成24年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

〈生物資源科学部農林生産学科〉

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	
生物資源科学部 農林生産学科 学士(生物資源科学)	4 年	85 人	※ 3年次 人	340 人 ※編入学定員は学科単位ではなく, 学部単位で設定している。(20名)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度 平成24年度 春季入学			区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	農林生産学科	環境科学科	地域開発科学科		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
入学定員	30 (-) [-]	45 (-) [-]	55 (-) [-]	A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.07倍	平成24年度入試は、学生募集から入学者の決定まで一貫して旧3学科の名称で行い、3学科への入学者を、志願時に調査した希望をもとに新設2学科へ分けている。平成24年度は、その他の学期については該当なし。
志願者数	145 (-) [3]	185 (-) [8]	388 (-) [0]	志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	144 (-) [3]	138 (-) [8]	263 (-) [8]	受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	34 (-) [2]	55 (-) [0]	66 (-) [4]	合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学者数	31 (-) [1]	53 (-) [0]	63 (-) [3]	B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
	農林生産学科	地域環境科学科		入学定員超過率 B/A								
A 入学定員	85人	45人										
B 入学者数	91人	56人										
入学定員超過率 B/A	1.07	1.24										

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 91	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/				[]	[]			
計			[1] 91	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	91 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	91 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

〈生物資源科学部地域環境科学科〉

(5) -① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
生物資源科学部 地域環境科学科 学士(生物資源科学)	4 年	45 人	※ 3年次 人	180 人	※編入学定員は学科単位では なく、学部単位で設定してい る。(20名)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成24年度			区分	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学				春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
入学定員	農業生産学科 30人 (-) [-]	生態環境科学科 45人 (-) [-]	地域開発科学科 55人 (-) [-]	A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	1.24倍	平成24年度入試は、学生募集から入学者の決定まで一貫して旧3学科の名称で行い、3学科への入学者を、志願時に調査した希望をもとに新設2学科へ分けている。平成24年度は、その他の学期については該当なし。
志願者数	175 (-) [3]	185 (-) [8]	368 (-) [8]	志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	144 (-) [3]	138 (-) [8]	283 (-) [8]	受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	34 (-) [2]	55 (-) [0]	96 (-) [4]	合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
入学者数	31 (-) [1]	53 (-) [0]	63 (-) [3]	B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []		
A 入学定員	85人	45人	入学定員超過率 B/A									
B 入学者数	91人	56人										
入学定員超過率 B/A	1.07	1.24										

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、() 書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入**してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] 56	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			/		[]	[]	[]	[]	
4年次	/				[]	[]	[]	[]	
計			[3] 56	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成24年度 入学者	56 人	0 人	平成24年度	人	人		0 %
			平成25年度	人	人		
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成25年度 入学者	人	0 人	平成25年度	人	人		#DIV/0! %
			平成26年度	人	人		
			平成27年度	人	人		
平成26年度 入学者	人	0 人	平成26年度	人	人		#DIV/0! %
			平成27年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	56 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成24年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成24年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<生物資源科学部農林生産学科>

(1) 授業科目表

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考									
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手										
農業生産学教育コース	基 盤 科 目	物理学	1前		2								履修学生多数のため、後期にも開講(24)								
		化学	1前後 1前		2			1	1		1			履修学生多数のため、後期にも開講(24)							
		生物学	1前後 1前		2				3						カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)						
		地学	1前 1後		2											カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)					
		生物資源と農学	1後		2			1	2								カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)				
		地域社会セミナー	1後		2				1	1	1							カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)			
		生態学	1後		2				2										カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)		
		統計学	1前		2				1											カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)	
		基礎フィールド演習	1前 1前		2																カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
		細胞生物学	1前 1後		2																
		遺伝学	1後		2				1				カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)								
		動物学	1後		2			1						カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)							
		植物学	1後		2			1	1						カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)						
		微生物学	1後		2			1								カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)					
		物理化学	1後		2												カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)				
		有機化学Ⅰ	1後		2													カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)			
		基礎分子生物学	1後		2														カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)		
		生物化学Ⅰ	1後		2															カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)	
		基礎土壌学	1後		2																カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
		農学原論	1後		2			1													
		経済原論	1後		2						1		カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)								
		環境生物学	1後		2				2 3	4				退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)							
		水環境学	1後		2										退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)						
		基礎水理学	1後		2											退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)					
		物理学基礎実験	2前		1												退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)				
		地学基礎実習	2後 3前		1													退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)			
		農業キャリア論	3前後		2														退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)		
		農業生産学概論	1前	1				4												退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)	
		森林学概論	1前	1				1	1												退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)
		食と農の経済概論	1前	1				1													
		農林生態科学概論	1前	1				2 3	4				退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)								
小計(31科目)			4	52		10 11	12	1	1												
農業生産基礎セミナー	1前	2				7	6		3			教育体制の変更により、担当教員を変更(24)									
農場基礎実習Ⅰ	1前	2				2	3		1		教育体制の変更により、担当教員を変更(24)										
農場基礎実習Ⅱ	1後	2				2	3		1					教育体制の変更により、担当教員を変更(24)							
農業生産学基礎実験Ⅰ	1前	2					1 3		1 2						教育体制の変更により、担当教員を変更(24)						
農業生産学基礎実験Ⅱ	1後	2				4 5	3 5		2 1							教育体制の変更により、担当教員を変更(24)					
農業生産の基礎	1後	2				1	1		3								助教の採用により、教授から助教へ変更(24)				
専門英語	2後	2				7	6		2 3									助教の採用により、教授から助教へ変更(24)			

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
農業生産学 教育コース	専攻科目	農場専門実習	2前		2		2	3		1		
		農作業学	2前		2			1				
		生物統計学	2前		2			1				
		作物学	2前		2		1					
		耕地栽培学	2前		2			1				
		植物育種学	2前		2		1	1				
		果樹園芸学	2前		2		1	1				
		野菜園芸学	2前		2		1					
		資源作物学	2後		2			1				
		作物栄養学	2後		2							
		アグリバイオテクノロジー	2後		2			3				
		施設園芸学	2後		2			2				
		花卉園芸学	2後		2			2				
		園芸利用学	2後		2			1	1			
		家畜栄養学	2後		2			1				
		家畜繁殖学	2・3前		2							
		熱帯農学	2・3前		2							
		作物研究特別講義	2・3前 2→3後		2							兼任教員の都合により前期に 変更(24)
		園芸研究特別講義	2・3前 2→3後		2							兼任教員の都合により前期に 変更(24)
		農業生産学専門実験Ⅰ	3前		2			2			1	
		農業生産学専門実験Ⅱ	3後		2			3	1			1
		農業生産分野専攻実験Ⅰ	3前		2			7	6			3
		農業生産分野専攻実験Ⅱ	3後		2			7	6			3
		農業生産特別研究演習Ⅰ	3前		2			7	6			3
		農業生産特別研究演習Ⅱ	3後		2			7	6			3
		農業生産特別研究演習Ⅲ	4前		2			7	6			3
		農業生産特別研究演習Ⅳ	4後		2			7	6			3
		農業生産体験発表	4前後		4			7	6			3
		特別研究	4通		12			7	6			3
		植物病理学概論	2前		2			1				
		土壤微生物学	2前		2			1				
		総合防除学	2前		2				1			
		昆虫学	2後		2			4				
		植物病理学各論Ⅰ	2後		2				1			
		農薬環境科学	2後		2				1			
		授粉生態学	3前		2				1			
		天敵学	3前		2							
		植物病理学各論Ⅱ	3前		2			1				
		植物保護学	3後		2				1			
		農業経済学	2後		2				1			
		農業市場経済学	2後		2			1				
		農業経営学	2後		2				1			
		農学史	2後		2			1				
		農史	2後		2			1				
		農政学	3前		2			1				
地域経済学	3前		2					1				
経済統計解析学	2・3後 -2後		2				1			隔年開講 配当年次誤記のため訂正		
農業会計情報学	3前		2				1					
開発経済学	3前		2				1					
農業経営形態論	3後		2				1					
農業思想史	3後		2			1						
環境経済学	3・4後 -3後		2				1		1	隔年開講 配当年次誤記のため訂正		
森林生態学	1後		2							採用により専任教員追加		
森林植物学	2前		2				1					
造林学	2後		2				1					
測樹学	1後		2				1					

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
農業生産学教育 コース		森林計画学	2前		2					1		
		森林情報学	2後		2			1				
		森林土壌学	2後		2							
		森林水文学	3前		2			1				
		森林防災学	3後		2			1				
		森林経済学	2後		2		1					
		林政学	2後		2		1					
		森林バイオマス資源学	3前		2		1					
		森林利用学	3前		2		1					
		森林統計学	2前		2		1					
		山村経済学	3後		2		1					
		森林法律	3・4前		2		1					
		森林保護学	3前		2							
			3・4前									
		森林風致学	3 前		2							隔年開講 配当年次誤記のため訂正
		野生動物管理学	3前		2							
		畜産実習	2前		2							
			1前									カリキュラムの具体的な編成 の過程で、後期を前期に変更 せざるを得なかったため(24)
		動物生理学	1 後		2							
		エネルギー代謝学	2前		2							
		植物生理学	3後		2							
		植物分子生物学	3前		2							
			3前									カリキュラムの具体的な編成 の過程で、後期を前期に変更 せざるを得なかったため(24)
		細胞生理学	3 後		2							
		免疫学	2後		2							
		遺伝子機能学	2後		2							
		系統分類学	1前		2							
		多様性植物学	3後		2							
		分析化学	2・3前		2							
		生物化学Ⅱ	2前		2							
		分子生物学	2前		2							
		遺伝子工学	2後		2							
		タンパク質工学	2後		2							
		食品バイオテクノロジー	2後		2							
		生物有機化学	2後		2							
		動物細胞工学	3前		2							
		食品機能工学	3前		2							
		免疫工学	3前		2							
		植物細胞工学	3前		2							
		食品衛生学	3・4前		2							
			2前									
		土壌物理学	1 後		2							誤記のため訂正
		植物栄養生態学	3前		2							
		植物環境工学	3前		2							
	バイオマス利用学	3前		2								
	水と緑の環境工学	3前		2								
	水圏植物学	2前		2								
	水理学Ⅰ	2前		2								
	測量学Ⅰ	2前		2								
	生物環境ロボティクス	2後		2								
	土壌生態学	2後		2								
	土壌生化学	2前		2								
	農地工学	2後		2								
	農地保全学	3後		2								
	小計(113科目)			14	224		15	17		6		
							18	17	1	5		
	合計(144科目)			18	276		15	18	1	6		
							18	17	1	5		
森林 コース 教育		物理学	1前 1前後		2							履修学生多数のため、後期にも 開講(24) 単位の必修・選択は 誤記のため訂正
		化学	1 前 1前後		2		1	1		1		履修学生多数のため、後期にも 開講(24)
		生物学	1 前 1前		2			3				カリキュラムの具体的な編成の

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
森 林 学 教 育 コ ー ス	目	専攻演習Ⅳ	4後 4通	1			4	3		2		採用により准教授1名追加(24)	
		卒業論文	4前後	8			4	4		2		誤記のため訂正	
		山村経済学	3後		2		1						
		森林法律	3・4前		2		1						
		森林工学実習	3後		1		1						
		森林学特論	3前		2								
		森林保護学	3前		2								
			3・4前										隔年開講 配当年次誤記のため訂正
		森林風致学	3前		2								
		野生動物管理学	3前		2								
		測量学Ⅰ	2前後		2								
		測量学Ⅱ	2後		2								
		昆虫学	2後		2			1					
		土壌微生物学	2前		2			1					
		土壌生態学	2後		2								
		農政学	3前		2			1					
		農業市場経済学	2後		2			1					
		農業経営学	2後		2				1				
		農業経済学	2後		2				1				
			3・4後										隔年開講 配当年次誤記のため訂正
		環境経済学	3後		2				1				
		土壌生化学	2前		2								
		水環境保全学	2後		2								
		水圏植物学	2前		2								
		流域水文学	2後		2								
		生物統計学	2前		2				1				
		環境リスク学	2前		2								
		系統分類学	1前		2								
		汽水域生態学	3前		2								
		環境と複雑系	3前		2								
		生物環境ロボティクス	2後		2								
		森林実習Ⅰ	1前		1								
		森林実習Ⅱ	1後		1								
森林実習Ⅲ	2前		1										
森林実習Ⅳ	2後		1										
植物病理学概論	2前		2										
小計(62科目)				53	59		15 18	18 17	1	6 5			
合計(93科目)				63 61	105 107		15 18	18 17	1	6 5			
農 林 生 態 科 学 教 育 コ ー ス	基 盤 科 目	物理学	1前		2								
		化学	1前後 1前		2		1	1		1		履修学生多数のため、後期にも開講(24)	
		生物学	1前後 1前		2			3				履修学生多数のため、後期にも開講(24)	
		地学	1前		2							カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)	
		生物資源と農学	1後		2		1	2					
		地域社会セミナー	1後		2				1				
		生態学	1後	2				2					
		統計学	1前	2				1					
		基礎フィールド演習	1前		2								
		細胞生物学	1前		2							カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)	
		遺伝学	1後		2				1				
		動物学	1後	2			1						
		植物学	1後	2			1	1					
		微生物学	1後	2			1						
		物理化学	1後		2								
		有機化学Ⅰ	1後		2								
		基礎分子生物学	1後		2								
		生物化学Ⅰ	1後		2								
		基礎土壌学	1後		2								
		農学原論	1後		2			1					
経済原論	1後		2					1		退職により教授1名減及び採			

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
農 林 生 態 科 学 教 育 コ ー ス		環境生物学	1後	2			3	4					用により助教1名追加(24)	
		水環境学	1後		2									
		基礎水理学	1後		2									
		物理学基礎実験	2前		1									
		地学基礎実習	2後		1									
			3前											
		農業キャリア論	3前後		2								誤記のため訂正	
		農業生産学概論	1前		1			4						
		森林学概論	1前		1			1	1				誤記のため訂正	
		食と農の経済概論	1前		1			1						
			2					2			1		退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)	
		農林生態科学概論	1前		1			3	4					
		小計(31科目)			16	40		10	12	1	1			
								11						
			農林生態科学基礎セミナー	1前	2			2	4		1			退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24) 教授4は誤記のため訂正
								2			1			退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24) 教授4は誤記のため訂正
			農林生態科学実習	1前	1			4	4					
			動物生態学実験	2通	2			1	1					
			植物病理学実験	2通	2			1	2					
			微生物生態学実験	2通	4			1	1					
			農林生態科学外書講読	2前	1			4	4					
			植物病理学概論	2前	2			1						
			土壤微生物学	2前	2			1						
			総合防除学	2前	2				1					
			昆虫学	2後	2			1						
			植物病理学各論Ⅰ	2後	2				1					
			農業環境科学	2後	2				1					
			授粉生態学	3前	2				1					
			天敵学	3前	2									
			植物病理学各論Ⅱ	3前		2		1						
			植物保護学	3後	2				1					
			農林生態科学専攻実験	3通	2			4	4					
			専攻演習Ⅰ	3前	1			4	4					
		専攻演習Ⅱ	3後	1			4	4						
		卒論演習	4通	2			4	4						
		卒業論文	4通	8			4	4						
			1前										カリキュラムの具体的な編成の過程で、後期を前期に変更せざるを得なかったため(24)	
		動物生理学	1後		2									
		発生生物学	1後		2									
		比較解剖学	1後		2									
		極限環境生物学	2後		2									
		エネルギー代謝学	2前		2									
		細胞構造学	2後		2									
		植物生理学	3後		2									
		植物分子生物学	3前		2									
			3前										カリキュラムの具体的な編成の過程で、後期を前期に変更せざるを得なかったため(24)	
		細胞生理学	3後		2									
		免疫学	2後		2									
		行動生理学	2後		2									
		分子細胞学	2前		2									
		生命体構造学	2前		2									
		遺伝子機能学	2後		2									
		系統分類学	1前		2									
		器官形成学	2後		2									
		比較内分泌学	2後		2									
		生体情報学	3後		2									
		形態形成学	3前		2									
		進化遺伝学	3前		2									

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
農 林 生 態 科 学 教 育 コ ー ス	専 攻 科 目	多様性植物学	3後		2								
		臨海実習Ⅰ	2前		1								誤記のため訂正
		臨海実習Ⅱ	2前		2								誤記のため訂正
		臨海実習Ⅲ	2前		1								誤記のため訂正
		生物科学特論Ⅰ	3後		2								
		生物科学特論Ⅱ	2後		2								
		生物科学特論Ⅲ	3前		2								
		生物科学特論Ⅳ	2前		2								
		分析化学	2・3前		2								
		生物化学Ⅱ	2前		2								
		有機化学Ⅱ	2前		2								
		分子生物学	2前		2								
		分子細胞生物学Ⅰ	2前		2								
		化学生物学	2前		2								
		生命分子分光学	2前		2								
		分子細胞生物学Ⅱ	2後		2								
		遺伝子工学	2後		2								
		タンパク質工学	2後		2								
		光情報生物化学	2後		2								
		微生物機能工学	2後		2								
		食品バイオテクノロジー	2後		2								
		栄養情報工学	2後		2								
		生物有機化学	2後		2								
		動物細胞工学	3前		2								
		バイオシグナル工学	3前		2								
		分子認識工学	3前		2								
		生物制御化学	3前		2								
		分子神経科学	3前		2								
		微生物工学	3前		2								
		医薬バイオテクノロジー	3前		2								
		食品機能工学	3前		2								
		免疫工学	3前		2								
		植物細胞工学	3前		2								
		食品生化学	3・4前		2								
		食品衛生学	3・4前		2								
		生命情報工学特論	3・4前		2								
		応用生命工学特論	3・4前		2								
		農業生産の基礎	1後 2前		2			4	1		3 2		助教の採用により、教授から 助教へ変更(24)
		農場基礎実習Ⅲ	1前 2後		2			2	3		1		誤記のため訂正
		農場基礎実習Ⅳ	1後		2			2	3		1		誤記のため訂正
		農場専門実習	2前		2			2	3		1		
		農作業学	2前		2				1				
生物統計学	2前		2				1						
作物学	2前		2			1							
耕地栽培学	2前		2				1						
植物育種学	2前		2			1	1						
果樹園芸学	2前		2			1	1						
野菜園芸学	2前		2			1							
資源作物学	2後		2				1						
作物栄養学	2後		2										
アグリバイオテクノロジー	2後		2					3					
施設園芸学	2後		2			2							
花卉園芸学	2後		2			2							
園芸利用学	2後		2			1	1						
家畜栄養学	2後		2			1							
家畜繁殖学	2・3前		2										
熱帯農学	2・3前		2										
作物研究特別講義	2・3後		2										

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
農林生態科学教育コース		流域水文学	2後		2								
		環境リスク学	2前		2								
		水と緑の環境工学	3前		2								
		水環境保全学	2後		2								
		水圏植物学	2前		2								
		水圏生態学	2後		2								
		水質環境工学	3前		2								
		水質水文学	3前		2								
		水文統計学	3後		2								
		水理学Ⅰ	2前		2								
		水理学Ⅱ	2後		2								
		生物環境ロボティクス	2後		2								
		地域計画学	2前		2								
		土壌生化学	2前		2								
		土壌生態学	2後		2								
		農地工学	2後		2								
	農地保全学	3後		2									
	小計（168科目）			44	285		15	18		6			
					288		18	17	1	5			
	合計（199科目）			60	325		15	18		6			
					328		18	17	1	5			
農村経済学教育コース	基盤科目	物理学	1前		2								
			1前後										
		化学	1前		2		1	1		1			履修学生多数のため、後期にも開講(24)
			1前後										
		生物学	1前		2			3					履修学生多数のため、後期にも開講(24)
			1前										
		地学	1後		2								カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
			1後										
		生物資源と農学	1後		2		1	2					
		地域社会セミナー	1後		2			1	1	1			
		生態学	1後		2			2					
		統計学	1前	2		2		1					
		基礎フィールド演習	1前		2								
			1前										
		細胞生物学	1後		2				1				カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
			1後										
		遺伝学	1後		2				1				
		動物学	1後		2			1					
		植物学	1後		2			1	1				
		微生物学	1後		2			1					
		物理化学	1後		2								
		有機化学Ⅰ	1後		2								
		基礎分子生物学	1後		2								
		生物化学Ⅰ	1後		2								
		基礎土壌学	1後		2								
		農学原論	1後		2			1					
		経済原論	1後	2						1			
			1後					2			1		退職により教授1名減及び採用により助教1名追加(24)
		環境生物学	1後		2			3	4				
		水環境学	1後		2								
基礎水理学	1後		2										
物理学基礎実験	2前		1										
地学基礎実習	2後		1										
	3前												
農業キャリア論	3前後		2								誤記のため訂正		
農業生産学概論	1前	1				4							
森林学概論	1前	1				1	1				誤記のため訂正		
食と農の経済概論	1前	1				1							
	1前					2			1		退職により教授1名減及び採		

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
		農林生態科学概論	1前	1			3	4					用により助教1名追加(24)	
		小計(31科目)		8	48		10 11	12	1	1				
農村経済学 教育コース	専攻科目	ミクロ経済学	2前	2				1						
		マクロ経済学	2前	2				1						
		農場基礎実習Ⅲ	2前	2			2	3		1				
		農業経済学	2後	2				1						
		農業市場経済学	2後	2			1							
		農業経営学	2後	2				1						
		農学史	2後	2				1						
		農史	2後	2				1						
		農村経済学セミナー	2後	2				1	3					
		農村調査分析論	2通	4				2	1	1				
		農政学	3前	2				1						
		地域経済学	3前	2						1				
		専攻演習Ⅰ	3前	1				3	4	1				
		専攻演習Ⅱ	3後	1				3	4	1				
		専攻演習Ⅲ	4前	1				3	4	1				
		専攻演習Ⅳ	4後	1				3	4	1				
		卒業論文	4通	8				3	4	1				
		農村経済学基礎セミナー	1前		2			3	4	1				
			2・3後											
		経済統計解析学	2後		2				1					隔年開講 配当年次誤記のため訂正
		農業会計情報学	3前		2				1					
		開発経済学	3前		2				1					
		農業経営形態論	3後		2				1					
		農業思想史	3後		2			1						
			3・4後											
		資源管理学	3後		2				1					隔年開講 配当年次誤記のため訂正
			3・4後											
		環境経済学	3後		2				1					隔年開講 配当年次誤記のため訂正
		農場基礎実習Ⅳ	2後		2			2	3		1			
											3			助教の採用により、教授から助教へ変更(24)
		農業生産の基礎	1後		2			4	1		2			
		農作業学	2前		2				1					
		作物学	2前		2			1						
		耕地栽培学	2前		2				1					
		植物育種学	2前		2			1	1					
		果樹園芸学	2前		2			1	1					
野菜園芸学	2前		2			1								
資源作物学	2後		2				1							
作物栄養学	2後		2											
アグリバイオテクノロジー	2後		2				3							
家畜栄養学	2後		2			1								
造林学	2後		2				1							
森林計画学	2前		2						1					
森林防災学	3後		2				1							
森林経済学	2後		2			1								
林政学	2後		2				1							
山村経済学	3後		2				1							
森林法律	3・4前		2				1							
植物病理学概論	2前		2				1							
土壤微生物学	2前		2				1							
総合防除学	2前		2					1						
昆虫学	2後		2			1								
地域計画学	2前		2											
経済政策論Ⅰ	2前		2											
経済政策論Ⅱ	2後		2											
	3後													
企業法Ⅰ	3前		2									誤記のため訂正		
財政学Ⅰ	3前		2											
財政学Ⅱ	3後		2											
民法Ⅰ	4前		2											
農村経済学							1							

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
予 教育 コース		森林生態学	1後		2								採用により准教授1名追加(24)
		小計(56科目)		38	78		15 18	18 17	1	6 5			
		合計(87科目)		46	126		15 18	18 17	1	6 5			

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

教育 コース	認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考	
	必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計		
農 業 生 産 学	科目 11	科目 133	科目 0	科目 144	科目 11	科目 133	科目 0	科目 144	[] [] [] []	
森 林 コ ー ス 学 教 育	科目 37	科目 56	科目 0	科目 93	科目 36	科目 57	科目 0	科目 93	[] [] [] []	認可時の科目数誤記のため訂正
農 林 生 態 科 学	科目 30	科目 169	科目 0	科目 199	科目 30	科目 169	科目 0	科目 199	[] [] [] []	
農 村 経 済 学	科目 23	科目 64	科目 0	科目 87	科目 23	科目 64	科目 0	科目 87	[] [] [] []	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

<生物資源科学部地域環境科学科>

(1) 授業科目表

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
生態 環境 科学 教育 コース	基 盤 科 目	物理学	1前		2		1						カリキュラムの具体的な編成の過程で、物理学の教育に精通している教授の担当が可能となったため、助教から教授に変更(24)	
		化学	1前後 1前		2			2					履修学生多数のため、後期にも開講(24)	
		生物学	1前後 1前		2								履修学生多数のため、後期にも開講(24)	
		地学	1前 1後		2			1	1					カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
		生物資源と農学	1後		2									
		地域社会セミナー	1後		2									
		生態学	1後	2										
		統計学	1前	2					1					
		基礎フィールド演習	1前 1前		2									カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
		細胞生物学	1後 1後		2									
		遺伝学	1後		2									
		動物学	1後		2									
		植物学	1後		2									
		微生物学	1後		2									
		物理化学	1後		2									
		有機化学Ⅰ	1後		2									
		基礎分子生物学	1後		2									
		生物化学Ⅰ	1後		2									
		基礎土壌学	1後	2				1	1					退職により准教授減
		農学原論	1後		2									
		経済原論	1後		2									
		環境生物学	1後	2										
		水環境学	1後	2					1	2				カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため、准教授を2名から1名に変更(24)
		基礎水理学	1後		2					2				
		物理学基礎実験	2前		1					3	1			
		地学基礎実習	2後 3前		1			1	1					
		農業キャリア論	3前後		2									誤記のため訂正
		農業生産学概論	1前		1									
		森林学概論	1前		1									
		食と農の経済概論	1前		1									
		農林生態科学概論	1前		1									
小計(31科目)				10	46		3 2	8 7	1	1				
		水環境保全学	2後	2						1				
		水圏生態学	2後	2				1						
		汽水域生態学	3前	2										
		土壌生態学	2後	2				1						
		土壌化学	2前	2	2			1						
		植物栄養生態学	3前	2			1							
		水質環境工学	3前	2			1							
		水圏植物学	2前	2										
		環境リスク学	2前	2										

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
生態環境科学教育コース		進化遺伝学	3前		2								
		多様性植物学	3後		2								
		臨海実習Ⅰ	2前		1								誤記のため訂正
		臨海実習Ⅱ	2前		1								誤記のため訂正
		臨海実習Ⅲ	2前		2								誤記のため訂正
		土壌微生物学	2前		1								
		2後		2									
		農薬環境科学	3後		2								誤記のため訂正
		2前		2									
		総合防除学	3前		2								誤記のため訂正
		植物保護学	3後		2								
		昆虫学	2後		2								
		授粉生態学	3前		2								
		1後		2									
		2後		2									誤記のため訂正
		森林生態学	2後		2								
		造林学	2後		2								
		森林水文学	3前		2								
		森林バイオマス資源学	3前		2								
		微生物工学	3前		2								
		資源作物学	2後		2								
		生物統計学	2前		2								
		作物学	2前		2								
		耕地栽培学	2前		2								
		野菜園芸学	2前		2								
		作物栄養学	2後		2								
		森林学特論	3前		2								
		生物学実験	3後		2								
		熱帯農学	2・3前		2								
農業経済学	2後		2										
農業市場経済学	2後		2										
農業経営学	2後		2										
小計（98科目）			42	141		7	8	1	3				
				144									
合計（129科目）			52	187		7	8	1	3				
				190									
環境資源工学教育コース	基盤科目	物理学	1前	2			1		2		1	カリキュラムの具体的な編成の過程で、物理学の教育に精通している教授の担当が可能となったため、助教から教授に変更(24)	
		化学	1前後		2							履修学生多数のため、後期にも開講(24)	
		生物学	1前後		2							履修学生多数のため、後期にも開講(24)	
		地学	1前		2		1	1				カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)	
		生物資源と農学	1後		2								
		地域社会セミナー	1後		2								
		生態学	1後	2									
		統計学	1前	2					1				
		基礎フィールド演習	1前		2								
		1前		2									
		細胞生物学	1後		2								カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)
		遺伝学	1後		2								
		動物学	1後		2								
		植物学	1後		2								
		微生物学	1後		2								
		物理化学	1後		2								
		有機化学Ⅰ	1後		2								
基礎分子生物学	1後		2										

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
環境資源 工学教育 コース		生物化学Ⅰ	1後		2								
		基礎土壌学	1後	2			1	1					退職により准教授減
		農学原論	1後		2								
		経済原論	1後		2								
		環境生物学	1後		2								
		水環境学	1後	2			1	2					カリキュラムの具体的な編成 の過程で変更せざるを得な かったため、准教授を2名か ら1名に変更(24)
		基礎水理学	1後	2				1					
		物理学基礎実験	2前		1			3		1			
		地学基礎実習	2後		1		1	1					
			3前										
		農業キャリア論	3前後		2								誤記のため訂正
		農業生産学概論	1前		1								
		森林学概論	1前		1								
		食と農の経済概論	1前		1								
		農林生態科学概論	1前		1								
		小計(31科目)			12	44		3 2	8 7	1	1		
		水環境保全学	2後	2							1		
		水圏生態学	2後	2					1				
		汽水域生態学	3前		2								
		土壌生態学	2後		2				1				
		土壌生化学	2前		2				1				
		植物栄養生態学	3前		2		1						
		水質環境工学	3前	2			1						
		水圏植物学	2前		2								
		環境リスク学	2前	2									
		水圏動物学	2前		2								
		バイオマス利用学	3前	2							1		
		応用数学Ⅰ	1後		2		1						
		実用分析化学	2後	2					1				
		植物環境工学	3前		2				1				
		環境と複雑系	3前		2				1				
		現代物理化学	2前		2				1				
		生物環境ロボティクス	2後		2				1				
		水と緑の環境工学	3前	2			1						
	土壌物理学	2前	2						1				
	構造力学の基礎	2前		2		1	1						
	応用数学Ⅱ	2前		2				1					
	水理学Ⅰ	2前	2					1					
	測量学Ⅰ	2前		2				1					
	測量学Ⅱ	2後		2					1				
	構造力学	2後		2		1							
	土質工学Ⅰ	2前		2		1	1						
	土質工学Ⅱ	2後		2		1	1						
	かんがい排水学Ⅰ	3前	2						1				
	かんがい排水学Ⅱ	3後		2					1				
	水質水文学	3前	2			1							
	流域水文学	2後		2		1							
	水利施設工学Ⅰ	3前		2		1							
	コンクリート工学	3前		2		1							
	地域計画学	2前	2					1					
	農地保全学	3後	2					1					
	水理学Ⅱ	2後		2				1					
	構造設計論	3後		2		1	1						
	応用数学Ⅲ	2後		2				1					
	農地工学	2後	2						1				
	水文統計学	3後		2		1							
	水利施設工学Ⅱ	3後		2		1							

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
環境資源工学教育コース	専攻科目	地域環境科学入門	1前	1			7	8	1	3		カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため(24)	
		環境分析化学実験	2前	1				1		2			
		生態環境科学実習	2後		1		1	2		1			
		環境資源工学実習	2後	1			1	2		1			
		測量実習Ⅰ	2前		1								
		測量実習Ⅱ	2後		1								
		水理学実験	3前		1		1	1			1		
		土質理工学実験	3前		1			1	1	1			
		土木材料学実験	3前		1			1	1				
		地域環境工学演習	3後		1			1	1				
		外書講読Ⅰ	2前	1			7	8	1	3			
		外書講読Ⅱ	2後		1		7	8	1	3			
		卒業論文	4通	8			7	8	1	3			
		卒論演習	4通	2			7	8	1	3			
		専攻特別実験Ⅰ	3前		1		1	1					
		専攻特別実験Ⅱ	3前		1			2					
		専攻特別実験Ⅲ	3前		1		1	1					
		生態環境科学特論	2後		1								
		環境資源工学特論	2後		1								
			1前										
		動物生理学	1後		2								
		極限環境生物学	2後		2								
		植物生理学	3後		2								
		免疫学	2後		2								
		遺伝子機能学	2後		2								
		系統分類学	1前		2								
		土壤微生物学	2前		2								
		農薬環境科学	2後		2								
		総合防除学	2前		2								
		植物保護学	3後		2								
		昆虫学	2後		2								
		授粉生態学	3前		2								
		森林生態学	1後		2								
		造林学	2後		2								
		森林水文学	3前		2								
		森林バイオマス資源学	3前		2								
		材料再生利用工学	3前		2								
		バイオマス変換工学	3前		2								
		微生物工学	3前		2								
		資源作物学	2後		2								
		生物統計学	2前		2								
		作物学	2前		2								
		耕地栽培学	2前		2								
		野菜園芸学	2前		2								
		作物栄養学	2後		2								
		生物学実験	3後		2								
		森林学特論	3前		2								
熱帯農学	2・3前		2										
農業経済学	2後		2										
農業市場経済学	2後		2										
農業経営学	2後		2										
小計(98科目)				42	129		7	8	1	3			
合計(122科目)				54	173		7	8	1 2	3	誤記のため訂正		
地域工学教育 コース		物理学	1前				1					カリキュラムの具体的な編成の過程で、物理学の教育に精通している教授の担当が可能となったため、助教から教授に変更(24) 履修学生多数のため、後期にも開講(24) 履修学生多数のため、後期にも開講(24) カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得な	
		化学	1前後 1前		2								
		生物学	1前後 1前		2								
			1前										

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
地域 工学 教育 コース	基 盤 科 目	地学	1後		2		1	1					この過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)		
		生物資源と農学	1後		2										
		地域社会セミナー	1後		2										
		生態学	1後		2									カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため前期に変更(24)	
		統計学	1前	2				1							
		基礎フィールド演習	1前		2										
		細胞生物学	1前												
		細胞生物学	1後		2										
		遺伝学	1後		2										
		動物学	1後		2										
		植物学	1後		2										
		微生物学	1後		2										
		物理化学	1後		2										
		有機化学 I	1後		2										
		基礎分子生物学	1後		2										
		生物化学 I	1後		2										
		基礎土壌学	1後		2			1	1					退職により准教授減	
		農学原論	1後		2										
		経済原論	1後		2										
		環境生物学	1後		2										
		水環境学	1後		2			1	2					カリキュラムの具体的な編成の過程で変更せざるを得なかったため、准教授を2名から1名に変更(24)	
		基礎水理学	1後	2					1						
		物理学基礎実験	2前		1				3	1					
		地学基礎実習	2後		1			1	1						
		農業キャリア論	3前後		2									誤記のため訂正	
		農業生産学概論	1前		1										
		森林学概論	1前		1										
		食と農の経済概論	1前		1										
		農林生態科学概論	1前		1										
		小計(31科目)			6	50		3	8						
								2	7	1	1				
		水環境保全学	2後		2					1					
		水圏生態学	2後		2			1							
		汽水域生態学	3前後		2										
		土壌生態学	2後		2			1							
		土壌生化学	2前		2			1							
		植物栄養生態学	3前		2		1								
		水質環境工学	3前		2		1								
		水圏植物学	2前		2										
		環境リスク学	2前		2										
		水圏動物学	2前		2										
		バイオマス利用学	3前		2					1					
		応用数学 I	1後	2			1								
		実用分析化学	2後		2			1							
		植物環境工学	3前		2			1							
		環境と複雑系	3前		2			1							
		現代物理化学	2前	2				1							
		生物環境ロボティクス	2後		2			1							
		水と緑の環境工学	3前	2			1								
		土壌物理学	2前	2					1						
		構造力学の基礎	2前	2			1	1							
		応用数学 II	2前	2				1							
		水理学 I	2前	2				1							
		測量学 I	2前	2				1							
		測量学 II	2後	2					1						

教育 コース	科目 区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
地域 工学 教育 コース	専 攻 科 目	構造力学	2後	2			1						
		土質工学Ⅰ	2前	2			1	1					
		土質工学Ⅱ	2後	2			1	1					
		かんがい排水学Ⅰ	3前	2						1			
		かんがい排水学Ⅱ	3後	2						1			
		水質水文学	3前	2			1						
		流域水文学	2後	2			1						
		水利施設工学Ⅰ	3前	2			1						
		コンクリート工学	3前	2			1						
		地域計画学	2前	2					1				
		農地保全学	3後	2					1				
		水理学Ⅱ	2後		2				1				
		構造設計論	3後		2		1	1					
		応用数学Ⅲ	2後		2			1					
		農地工学	2後	2						1			
		水文統計学	3後		2		1						
		水利施設工学Ⅱ	3後		2		1						
		地域環境科学入門	1前	1			7	8	1	3			
		環境分析化学実験	2前		1			1		2			
		生態環境科学実習	2後		1		1	2		1			
		環境資源工学実習	2後		1		2	1		1			
		測量実習Ⅰ	2前	1									
		測量実習Ⅱ	2後	1									
		水理学実験	3前	1			1	1		1			
		土質理工学実験	3前	1				1	1	1			
		土木材料学実験	3前	1			1	1					
		地域環境工学演習	3後	1			1	1					
		外書講読Ⅰ	2前		1		7	8	1	3			
		外書講読Ⅱ	2後		1		7	8	1	3			
		卒論演習	4通	2			7	8	1	3			
		生物学実験	3後		2								
		生態環境科学特論	2後		1								
		環境資源工学特論	2後		1								
		卒業論文	4通	8			7	8	1	3			
		耕地栽培学	2前		2								
		農業経済学	2後		2								
農業市場経済学	2後		2										
農業経営学	2後		2										
小計(62科目)				59	57								
合計(93科目)				65	107		7	8	1	3			

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成23年度に届出された大学等は届出時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

教育 コース	認 可 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
	必 修	選 択	自 由	計	必 修	選 択	自 由	計	
生態環境科学 教育コース	科目 25	科目 104	科目	科目 129	科目 25 []	科目 104 []	科目 []	科目 129 []	
環境資源工学 教育コース	科目 26	科目 96	科目	科目 122	科目 26 []	科目 96 []	科目 []	科目 122 []	
地域工学 教育コース	科目 33	科目 60	科目	科目 93	科目 33 []	科目 60 []	科目 []	科目 93 []	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費 【該当なし】

区 分		内 容				備考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	(例) 校舎敷地と別地 (徒歩〇分)	
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²		
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²		
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²		
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	〇〇短期大学と共用		
	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			(例) 平成24年4月 専任教員1名を新規採用のため(24)	
	〇〇学部 〇〇学科		(例) 16 室 15				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
		[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()
計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		
	m ²						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
	学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 届出時の計画を、届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成24年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(24)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	島根大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定員	収 容 定 員	学位又 は称号	定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	3年次 人	人		倍			
法学部			10	20				島根県松江市西川津町1060	
法経学科	4	90		360	学士（法経）	1.03	平成16年度		
社会文化学科	4	70		280	学士（社会科学）	1.05	平成16年度		
言語文化学科	4	65		260	学士（文学）	1.03	平成16年度		
教育学部 学校教育課程	4	170		680	学士（教育学）	1.02	平成16年度	島根県松江市西川津町1060	
医学部 医学科	6	102	10	569	学士（医学）	1.00	平成15年度	島根県出雲市塩冶町89-1	
看護学科	4	60	10	240	学士（看護学）	1.02	平成15年度		
総合理工学部 物質科学科	4	130	12	520	学士（総合理工学）	1.05	平成15年度	島根県松江市西川津町1060	
地球資源環境学科	4	50		200	学士（総合理工学）	1.01	平成15年度		
数理・情報システム学科	4	10		400	学士（総合理工学）	1.00	平成15年度		
機械・電気電子工学科	4	80		80	学士（総合理工学）	1.11	平成24年度		
建築・生産設計工学科	4	40		40	学士（総合理工学）	1.00	平成24年度		
生物資源科学部 生物科学科	4	30	20	120	学士（生物資源科学）	1.01	平成15年度	島根県松江市西川津町1060	
生命工学科	4	40		160	学士（生物資源科学）	1.07	平成15年度		
農林生産学科	4	85		85	学士（生物資源科学）	1.07	平成24年度		
地域環境科学科	4	45		45	学士（生物資源科学）	1.24	平成24年度		
人文社会科学部 法経専攻	2	6		12	修士（法学） 修士（経済学） 修士（社会科学） 修士（言語文化）	0.83	平成16年度	島根県松江市西川津町1060	
言語・社会文化専攻	2	6		12		1.41	平成16年度		
教育学部 教育実践開発専攻	2	20		40	修士（教育学）	0.72	平成20年度	島根県松江市西川津町1060	
教育内容開発専攻	2	20		40		0.75	平成20年度		
医学系研究科 医科学専攻	4	30		120	博士（医学）	1.05	平成20年度	島根県出雲市塩冶町89-1	
医科学専攻	2	15		30	修士（医科学）	1.03	平成16年度		
看護学専攻	2	12		24	修士（看護学）	1.08	平成15年度		

総合理工学研究科 マテリアル創成工学専攻	3	6		18	博士（理学） 博士（工学） 博士（学術）	0.77	平成15 年度	島根県松江市西川津 町1060
電子機能システム工学専攻	3	6		18		0.50	平成15 年度	
総合理工学専攻	2	124		124	修士（総合理 工学） 修士（理学） 修士（工学）	0.87	平成24 年度	
生物資源科学研究科 生物生命科学専攻	2	20		40		1.02	平成20 年度	島根県松江市西川津 町1060
農林生産科学専攻	2	22		44	修士（生物資 源科学）	0.61	平成20 年度	
環境資源科学専攻	2	18		36		0.94	平成20 年度	
法務研究科 法曹養成専攻	3	20		60	法務博士（専 門職）	0.40	平成16 年度	島根県松江市西川津 町1060
〇 〇 短 期 大 学								
備 考								
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入 学 員 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地
	年	人	年 次 人	人		倍		

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が、設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科（AC対象学部等を含む）について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成24年5月1日現在の状況を記入してください。

（専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<生物資源科学部 農林生産学科及び地域環境科学科>

(1) 担当教員表 【該当なし】

認可時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
										/

- (注)・届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、(〇〇学部 △△学科)の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・年齢は、「認可時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成24年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 専任教員数

<生物資源科学部農林生産学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
18	17	1	5	41	-	15	18	1	6	40	-	担当教員退職によるものであり、平成24年11月後任補充予定(現在公募中)
(15)	(18)	(1)	(6)	(40)	(-)	[△3]	[1]	[-]	[1]	[△1]	[-]	

- (注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

<生物資源科学部地域環境科学科>

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	8	1	3	19	-	7	8	1	3	19	-	
(7)	(8)	(1)	(3)	(19)	(-)	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注)・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成24年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由 【該当なし】

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」 【該当なし】

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

6 留意事項に対する履行状況等 【該当なし】

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年●●月)			

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<生物資源科学部 農林生産学科及び地域環境科学科>

(1) 設置計画変更事項等 【該当なし】

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
記入例) ① 修了要件単位数 1 2 4 単位 必修科目〇〇単位, 選択科目〇〇単位 ② 施設・設備 a 講義室〇室 (〇㎡) b 自習室〇室 (〇㎡) c 図書〇〇冊	① 学生の専門性をより高めるため、必修科目(1科目・2単位)を追加。(別添〇「新旧対象表」参照) ② 学生の修学環境を改善するため、講義室、自習室をそれぞれ〇部屋(〇㎡)増やすとともに、図書も〇〇冊増書した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む) 【該当なし】

① 実施体制 a 委員会の設置状況 b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) c 委員会の審議事項等 ② 実施状況 a 実施内容 記入例) ・ 授業方法について研究会 ・ 教員相互の授業参観 ・ 新任教員のための研修会 等 b 実施方法 c 開催状況(教員の参加状況含む) d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 b 教員や学生への公開状況、方法等

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項【該当なし】

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

.....

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

記入例）

- ・平成24年5月1日 公表

b 公表方法

記入例）

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、近隣企業（〇〇社）及び希望があった学生（〇〇名）に各1冊を配布
- ・大学ホームページ上に公開予定（平成24年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

記入例）

- ・平成24年度に評価機関（〇〇〇〇〇〇）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成24年 5月18日)